



9歳と6歳 2児のママ

無所属
流山市市議会議員

2017.6 発行

近藤みほ通信

http://mihokondoh.net/

討議資料

Vol. 9

児童急増問題を 発見後、何を訴え、 どうなったのか

2016.6 もっと早く気付いていればと
反省しております

自らが児童数を 推計、市に訴えて きました

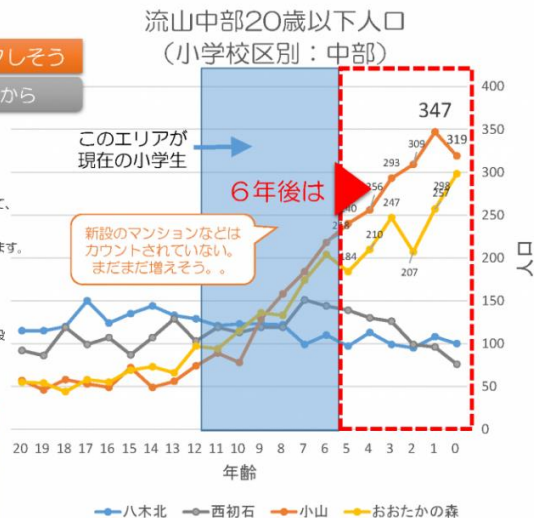
昨年6月、2016年4月の在住児童数を基に6年後の児童数の計算して、その数字に驚愕、レター等をつくり政治的な呼びかけを行ってきました。当時は急増が予想される3年先以降の推計を行っておらず、児童推計の情報公開にも難色を示す状況でした。

人口データを調べていたらびっくりする結果に！ 小中学校がパンクしそう 流山市の人口急増地域の20歳以下人口分布から

中部エリアは子どもの数は急増、学校はパンクしそうです。しかし現在は、新たな学校をつくる計画はございません。学校を増やすにせよ、そのための計画修正には相当な時間を要するので、間に合いそうにございません。よって学校を増やすべきかの検討と並行して、子ども人口急増地域から、子どもが減少している地域に、子どもが自然に移動したくなる方法を考えなければならぬと考えております。近頃は下記を仮説として検討を深めていこうと思っておりますが、皆様はどうお考えになりますか？皆様どうぞお知恵をお貸しください。

- ・(仮説) 子どもが減少している小学校に特色のある魅力ある教育プログラムを創設
- ・スクールバスを導入の上、送迎事業を展開する
- ・民間を含めた学童との柔軟な連携

人口合計	おたかの森小	小山小
6歳から11歳	約1.6倍 856人	約2倍 856人
0歳から5歳	1403人	1764人



近藤みほ通信 近藤みほ通信の通信はダイジェスト版です。詳細はHPをチェックしてください。ご相談やお問い合わせはご連絡ください！

データ元 流山市住民基本台帳人口情報 (町別・年齢別・男女別 平成28年4月1日現在)

第一セクターの人間としてご批判を受けながらも こんな発信も実施、多くの市民の方々と情報交換を行いました

流山市は素敵な街だと思えます。保育園整備も頑張ってる。教育にも力を入れている。でも、転入を考えていらっしゃる方、もう少しだけ待って。特におたかの森地区は選ばれすぎて子ども達の環境整備が追いつかない。待機児童はゼロにならない、小学校もパンクしそうです。子ども達が健やかに育つ環境整備を全力で推進しますから。

勝手な
お願いです

流山市は素敵な街だと思えます。保育園整備も頑張ってる。教育にも力を入れている。でも、転入を考えていらっしゃる方、もう少しだけ待って。特におたかの森地区は選ばれすぎて子ども達の環境整備が追いつかない。待機児童はゼロにならない、小学校もパンクしそうです。子ども達が健やかに育つ環境整備を全力で推進しますから。

流山市は人口政策をこれまで通り進めるようです。人口が増えることはうれしいことですが急増は良くない、人口急増の影響でおたかの森駅周辺はパンク寸前。どんな小学校の校庭が狭くなる、保育園を新設しても保育士が足りなくて、痛切な問題に増設される学童、これで子育て環境の質を良くするなんて無理がある。

これまで様々な提案をしましたが、市はあまり耳を貸してくれません。勿論、私の力不足かもしれません。だったら最低限、流山市を喜んでくださる方に人口が急増している「おたかの森地区」の現状を誠実に発信する必要があったと思います。もっと子育て環境の質にこだわってほしい、将来を担う子ども達の育ちに責任を持つことなどから、その他、ママとパパに寄り添った地域子育て支援の充実、放課後の学校開放(特に夏休み等の長期休み)、認定こども園等、やらなければいけない事はまだまだある。

間に合わせではなく、子ども達が健やかに育つ環境整備をしっかりと確実にやっていただきたい。住民投票をするならそれぐらいの覚悟で！

どうか皆様、子ども達のために力を貸してください。市に声を届けましょう。

2016.8 「住民誘致はするが質は後」 この市の見解を 聞いて政治活動を強化

住民誘致をするなら子どもの保育・教育の質にコミットする姿勢が必須ですし、情報公開を行い説明責任を誠実に果たすべきです。これを多くの方に分かっていたら良かったのです。

2016.9~2017.3 議会の多くの場で 課題提起した結果 市が方向修正 (多くの議員が一般質問などで取り上げました)

特に、おたかの森駅市有地1ha活用事業の審議では、児童推計の積極的な情報公開により説明責任を果たすよう会派を通じて強く要求しました。

※1 GIS…地理情報システム。様々な情報を地図上に統合し、可視化や分析ができるツール。人口の張り付きなどの検証のみならず、あらゆる都市分析に利用可能。

これまで	今後
市面積の1/5に及ぶ開発が行われており、変動要因が大きいにも関わらず3年先までしか児童推計を行わず	・児童人口を6年先まで予測、さらにGIS(※1)を導入、住民数を小まめに点検できる体制に。積極的な情報公開を行い説明責任を果たす
学校や学童など子どものための環境整備が追いついていない	・第三者評価の導入(保育園の質担保) ・学童の入所状況を公開、量の拡充とガイドラインの策定(学童の質担保) ・おたかの森小学校の増設、新設校建設の決定、学区変更 ・小学生の夏の居場所試行事業開始
住宅販売広告に入学予定学校校区が明記されている状態	・入学予定の校区は明記しない(または変更の可能性のある旨明記)することを住宅販売業者に市が要請



校区の変更は児童急増対策の結果

今回の学区変更は小山小学校の児童数が急増することへの対策です。6年後まで推計して課題が明確になりました。市は教育の質を保つために48学級（1500人）を目安とするとのこと（変更内容は下記）。

小山小学校及び八木北小学校通学区見直し（案） 市のHPから



H29.5.2
都市軸道路を境に北側を八木北小学校区、南側を小山小学校に通学区域の変更を検討しています。

①変更予定時期
平成32年度

②変更地域
・東初石5丁目
・十太夫
・駒木
(左図の網掛け部分)

③対象児童
平成32年度からの新入生および転入する児童

※平成31年度までに各小学校に入学した児童の変更予定はありません。

広報

- 広報ながれやま
- 市民伝言板の申し込み
- くると流山

広報ながれやまに記載されているページIDを入力すると該当ページが表示されます。

ID IDを入力 表示

変更しない場合、小山小学校の児童数は6年後に2110人（右上）、学区変更後は1720人（右下）。八木北小学校は平成32年度併用を目的に改築工事を開始します。

小・中学校通学区域の情報は流山市HPトップページの【広報】エリアで **28577** を入力!!

変更前

	現在		推計値				推定値		H35/H29
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35		
おおたかの森	1049	1266	1518	1755	2170	2610	2990	2.9	
小山	948	1120	1288	1496	1700	1920	2110	2.2	
南流山	826	876	940	1059	1170	1343	1460	1.8	
流山	911	939	967	984	1040	1030	1000	1.1	
八木北	647	692	699	728	770	850	860	1.3	
鶯ヶ崎	568	589	600	640	700	740	780	1.4	
西初石	718	741	759	768	740	700	670	0.9	
江戸川台	588	593	590	596	570	570	540	0.9	
長崎	577	577	556	561	570	530	520	0.9	
東	654	643	605	580	580	560	520	0.8	
向小金	509	518	544	515	490	500	510	1.0	
流山北	651	633	610	593	590	530	490	0.8	
八木南	195	239	251	266	320	370	460	2.4	
東深井	654	630	601	546	520	490	450	0.7	
新川	421	412	393	348	320	280	237	0.6	
西深井	192	200	206	196	210	220	220	1.1	

変更後

	現在		推計値				推定値		H35/H29
	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35		
おおたかの森	1049	1266	1518	1755	2170	2610	2990	2.9	
小山	948	1120	1288	1441	1570	1690	1720	1.8	
南流山	826	876	940	1059	1170	1343	1460	1.8	
流山	911	939	967	984	1040	1030	1000	1.1	
八木北	647	692	699	824	990	1180	1360	2.1	
鶯ヶ崎	568	589	600	640	700	740	780	1.4	
西初石	718	741	759	768	740	700	670	0.9	
江戸川台	588	593	590	596	570	570	540	0.9	
長崎	577	577	556	561	570	530	520	0.9	
東	654	643	605	580	580	560	520	0.8	
向小金	509	518	544	515	490	500	510	1.0	
流山北	651	633	610	593	590	530	490	0.8	
八木南	195	239	251	266	320	370	460	2.4	
東深井	654	630	601	546	520	490	450	0.7	
新川	421	412	393	348	320	280	237	0.6	
西深井	192	200	206	196	210	220	220	1.1	

近藤の見解



児童密度は教育の質に直結するため今回の判断は致し方ないと考えます。今後は住宅販売広告に「校区が変更になる可能性がある」ことを明記したり、売買時の重要事項説明を徹底していただくことを継続して要望していきます。さらに皆様をお願いしたいことがあります。「教育・学童の質で気になることがあれば声をあげること」です。疑問点があれば、なんでも先生に聞いてみる。納得がいかなければ近藤にご一報ください。ただし本来学校は地域のみんで支えるものですので出来るご協力をお願いいたします。

5/27 小山・八木北小学校区変更案説明会



市民の方々から質問が多く出ていました。オフィシャルサイトで【速報】を掲載しております

なぜ都市の成長管理（住宅開発抑制）が出来ないのか？

多くの方からご要望のあった都市の成長抑制（住宅開発抑制）は市より「抑制はしない（出来ない）」という回答を得ています。流山市はつくばエクスプレスの整備と住宅の一体開発を約束してきたことから（景観条例や地区計画、高さ制限などを利用して乱開発を防ぎながらも）成長を目指す方針です。住宅が売れなければ莫大な負債を抱える可能性もあるから、ということなのでしょう（どの程度かは調査していきます）。若い世代は自治体経営の根幹を支える方々。人口増は歓迎すべきで不足があれば改善していくという考えが市の根底にあります。それならば、しっかり情報公開を行い説明責任を果たすなど、誠実な姿勢が求められます。この主張は市から一定の理解を得られたと思いますので、今後も目を光らせ、より良い環境を整備していけるよう頑張ります。これからも子育て環境の質は妥協しません。

